

正常の血管径が1.5倍以上に拡張する動脈瘤

全く症状を伴わず、体内に時限爆弾を持っているようなもの

高野橋医院



高野橋医院医師

高野橋 暁(あきら)さんプロフィール
 藤田保健衛生大学医学部医学科卒。
 名古屋掖済会病院 呼吸器・心臓血管外科、名古屋大学病院医学部 心臓外科、静岡済生会総合病院 胸部・心臓血管外科。現在、高野橋医院 脳神経外科、心臓血管外科。静岡済生会総合病院 非常勤
 ◇日本心臓血管外科専門医、日本循環器学会専門医、日本外科学会専門医、腹部大動脈瘤ステントグラフト実施医、下肢静脈瘤血管内レーザー焼灼術指導医

Q 動脈瘤とは、どのようなものですか？

A 一般的に動脈瘤とは「正常とされている血管径が1.5倍以上に拡張した場合」と定義され、脳にできれば脳動脈瘤、胸にできれば胸部大動脈瘤、腹部にできれば腹部大動脈瘤といった名称で呼ばれています。

胸部や腹部大動脈の正常径は胸部25〜30mm、腹部15〜20mm程度とされ、血管径が胸部50mm以上、腹部40mm以上になると動脈瘤と診断されます。基本、全く症状を伴いません。

体内に時限爆弾を持っているようなもので、年月を経るごとに徐々に拡大。破裂したときに初めて激烈な頭痛、胸痛、腹痛となって症状が表れます。一般的には破裂と同時に意識不明となり、ショック状態となります。破裂するまで特別な症状を呈さないため、予防は難しくなります。実際、動脈瘤の診断は他の病気の精査中に偶然発見されることがほとんど。発症の危険因子としては特殊な疾病を除き、高齢、男性、喫煙、です。

高血圧、血管変性などがあります。破裂するリスクは喫煙、高血圧などが要因です。

一般的に瘤の拡大は風船や焼きもちと同じで、最初はゆっくりですが、ある程度の大きさになるとスピードが上昇。半年で5mm以上の拡大がある場合は破裂する危険性が高いとされます。継続する胸部違和感やお腹を押したときに拍動性の腫瘍を感じた際は動脈瘤が存在するかもしれません。次回はいん臓について

脳神経外科

診療時間	月	火	水	木	金	土
<午前> 8:30~12:00	○	○	/	○	○	○
<午後> 13:30~18:00	○	○	/	○	○	/
院長 高野橋 正好	休診日/水曜・日曜・祝日・土曜午後					

心臓血管外科/循環器内科/下肢静脈瘤日帰り手術

診療時間	月	火	水	木	金	土
<午前> 8:30~12:00	○	/	/	○	○	○
<午後> 13:30~18:00	○	○	/	○	○	◎~16:30
医師 高野橋 暁	休診日/火曜午前・水曜・日曜・祝日					

高野橋医院 ☎054-256-2525 中部国道線 新丸子バス停下車 徒歩5分
 静岡市駿河区北丸子2-5-10 高野橋医院 検索